

1. スタッフ構成

- 山岡 傳一郎(診療委託)
- 鶴田 寛二(診療委託)
- 寺野 友美(診療委託)

2. 実績

外来患者数:1,571 名
うち、初診:82 名、再診:1,415 名

3. 2024 年度目標

2024 年度は、昨年同様の診療体制で、月曜日(山岡)、火曜日(寺野)、木曜日(鶴田)の3日間の診療とさせていただきます。

治療の方針としては、漢方診療は、主として煎じ薬(自然の草根木皮を使った漢方治療)を行い、エキス剤への移行が可能となった際には、地域の医療機関と連携させていただきます。鍼灸治療の適応の場合には、鍼灸治療室でクール体制(1クール6回の診療でクール毎に評価する方法)で行い、地域のホーム・ドクターとの連携のもとで診療をさせていただきます。患者さん1人ひとりのQOL(生活の質)を高められるような診療を目標にしています。コロナ後遺症の方もまだおられるようで、院内院外からご紹介をいただき、感謝申し上げます。今年度の目標としては、昨年以上に、ご紹介いただきました患者さんにいっそう満足いただけるような鍼灸漢方治療をさせていただきたいと思います。

なお、昨年度はオックスフォード大学でISJKM(国際漢方シンポジウム)があり、当科で専攻研修中の医師2名(消化器外科、泌尿器科)に発表してもらいました。まさに、漢方が世界で認められつつあることを実感しました。二人とも、昨年、漢方専門医となり、現在は指導医を目指してさらに研鑽中です。現在は、総合診療科医、感染症内科医、精神科医の専攻研修中の医師が新たに専門医試験を目指しています。今年度も漢方を勉強したい医師(専門、所属は問わず)をお受けしたいと考えています。

2023年4月には、オックスフォードのデニス・ノーブル名誉教授のDance to the Tune of Lifeを共同翻訳し、『命の調べのダンス』として発刊しましたが、その中には、今まで理解しにくかった心身一如の概念が条件付き生起(conditioned arising)と提示され、システムズ・バイオロジーから東洋医学が説明しやすくなってまいりました。

最後に、東洋医学専門医研修指定病院として、各科専門医となった医師が、当科で新たに東洋医学の専門医を目指して研修中ですので、共同診察させていただきますことをご了承ください。

4. 学術関係

(1) 学会発表および講演

- デニス・ノーブル(著)、山岡傳一郎(翻訳)、新庄記子(翻訳)、木村純子(翻